

小児新棟の整備方針案について

1 患者・家族の意見等

患者・家族などと意見交換を実施（患者・家族等の団体3回、県民向け説明会2回、滋賀県立病院経営協議会2回）

- 【主な意見】
- (1) 小児専用病棟が総合病院本館と小児新棟に分かれて、離れてしまい不安である。
 - (2) 患者・家族間の交流等ができるスペースを確保してほしい。
 - (3) 小児専用病棟の総合病院本館への移転時期と小児新棟の供用開始時期との間隔を短縮してほしい。

■従前の方針

小児新棟には、回復期・慢性期病棟と外来などを整備し、本館には急性期病棟を配置する。

- ①小児専用病棟については、総合病院本館の高度な医療施設や医療機器を活用できるよう、こども棟から本館に移転
- ②将来を見据えた医療資源の集約化、最適化等のため、急性期の病棟は、小児新棟完成後も本館に配置
- ③回復期・慢性期病棟については、一般病床をはじめ総合病院全体の医療機能の最適化の観点から、小児新棟へ再移転

2 患者・家族の意見等を踏まえた見直し内容

(1) 小児専用病棟の配置方針

患者数を推計したところ、小児専用病棟の本館移転後の病床配置で小児新棟完成後も対応可能と判断できるため、回復期・慢性期病棟について、小児新棟完成後も総合病院本館に配置する。

■患者数推計

	令和6年度	令和12年度	令和17年度	令和22年度	令和27年度
一般	388人/日 (年間延141,439人)	407人/日 (年間延148,371人)	430人/日 (年間延156,881人)	436人/日 (年間延158,971人)	441人/日 (年間延161,027人)
小児	49人/日 (年間延17,725人)	49人/日 (年間延17,873人)	50人/日 (年間延18,227人)	50人/日 (年間延18,083人)	49人/日 (年間延18,005人)
計	437人/日	456人/日	480人/日	486人/日	490人/日

■設置病床数

	現在	令和9年度 (小児病棟移転)	令和12年度 小児新棟完成時
一般	535床	488床	488床
小児	100床	72床	72床
計	635床	560床	560床

(2) 小児新棟の機能

小児新棟について、従前の方針どおり、外来や地域（関係機関等）との連携などの機能を持たせるほか、患者・家族の利用満足度を高める機能を拡充する。

	見直し前	見直し後
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・小児専門の外来 ・回復期・慢性期病棟 ・障害者歯科 ・地域（関係機関等）との連携のための空間 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児専門の外来 ・障害者歯科 ・地域（関係機関等）との連携のための空間 ・患者・家族の交流などのための多目的空間

※医療型短期入所の受入れについては、本館において行い空床利用型に加えて併設型も検討

(3) 想定スケジュール

小児新棟の供用開始時期について、従前の方針の令和13年度から1年前倒し、令和12年度とする

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
小児専用病棟 本館9階移転	※現在、基本・実施設計中	改修工事				
小児新棟 【変更後】	基本・実施設計			建設工事・供用準備	供用開始	
【変更前】		基本・実施設計			建設工事・供用準備	供用開始

3 小児新棟の想定規模等

延べ床面積7,000㎡を想定 ※今後、設計を行う中でさらに精査等を行う。

- ・ 共用部（休息・交流スペース、廊下等） 2,000㎡程度
- ・ 外来 3,500㎡程度
- ・ 心理相談・保健指導 200㎡程度
- ・ 検査 200㎡程度
- ・ 放射線 400㎡程度
- ・ スタッフエリア 300㎡程度
- ・ その他 400㎡程度

参考：関連施設

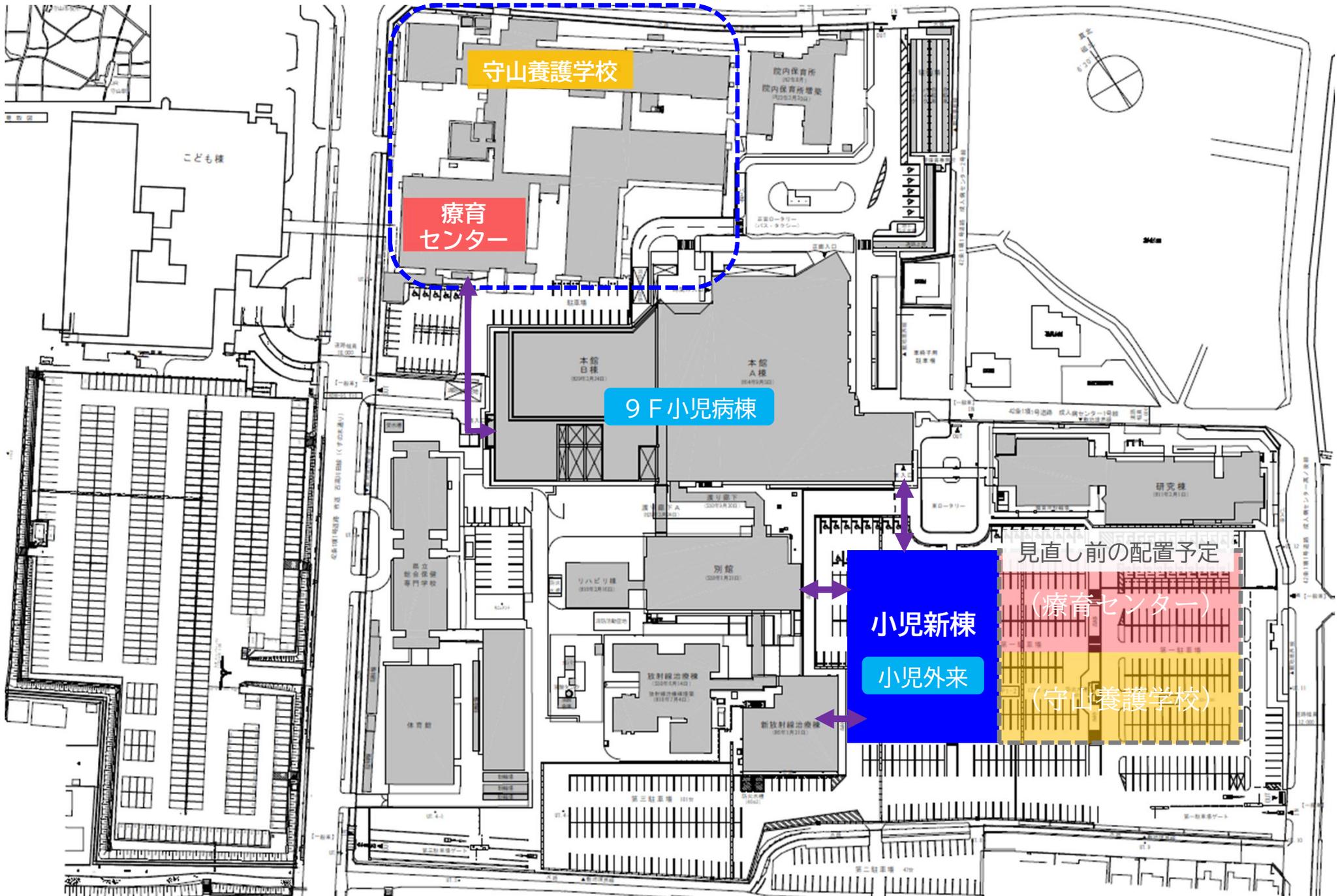
療育センターと守山養護学校については、現地改修とする。

- ・ 療育センター（令和10～11年度供用開始で調整中）
- ・ 守山養護学校（令和10年度供用開始を想定）

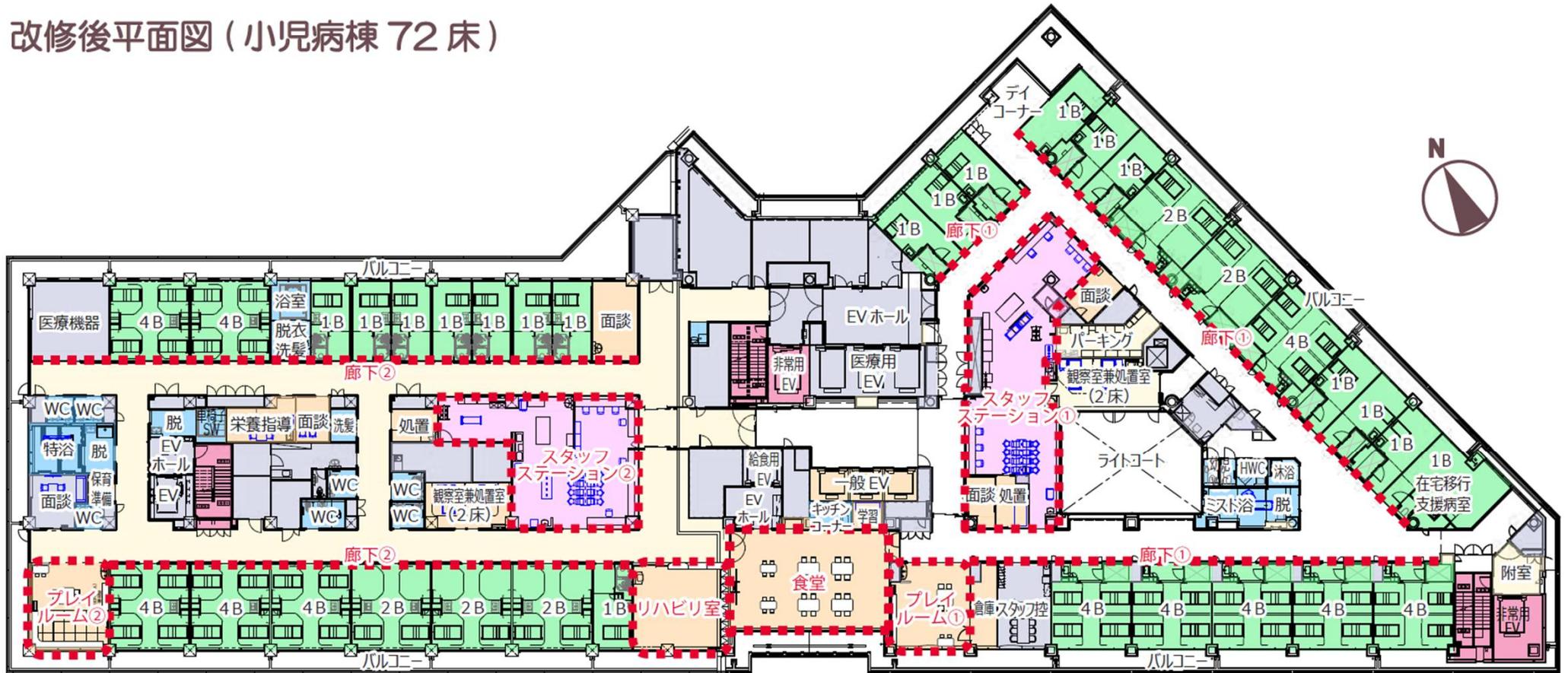
参考:施設配置イメージ

現地改修

↔ 連絡通路(検討中)



改修後平面図 (小児病棟 72 床)



参考: 病室面積

- ・個室 18㎡/床 (10㎡/床)
- ・2床室 18㎡/床 (5~7㎡/床)
- ・4床室 9㎡/床 (5~7㎡/床)
- ・在宅移行支援病室 34㎡/床
- ※ () は現在のこども棟の面積



プレイルーム① 完成イメージ



プレイルーム② 完成イメージ



リハビリ室 完成イメージ



食堂 完成イメージ